

ぼくの家族と祖国の戦争 (2023)

NAR BEFRIElsen KOMMER
BEFORE IT ENDS

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争
製作国 デンマーク
色彩 Color
時間 101分
初公開日 2024/08/16
公開情報 スターキャット
映倫 G

【キャッチコピー】

友達を守りたい、敵であっても――

【解説】

「バーバラと心の巨人」のアンダース・ウォルター監督が、ナチス占領下のデンマークで起きた知られざる悲劇の物語を映画化したヒューマン・ドラマ。敗色濃厚なドイツから大量に押し寄せた難民を受け入れることになった大学長とその家族の極限状況での決断の行方を描く。出演はピルー・アスベック、ラッセ・ピーター・ラーセン、カトリーヌ・グライス＝ローゼンタール。

第二次世界大戦末期のデンマーク。市民大学の学長を務めるヤコブは、現地のドイツ軍司令官から、ドイツから逃れてきた難民の受け入れ準備をするよう命じられる。しかし、想定を超える500人以上の難民を押し付けられ、収容所として用意した体育館はすぐに劣悪な環境に。しかも多くの子どもたちが飢えに苦しみ、感染症の蔓延によって次々と命を落としていく。見かねたヤコブと妻のリスは、なんとか彼らに手を差し伸べようとするが、敵国であるドイツ人を救うことは、同胞たちから裏切り者と糾弾される危険をはらんでいた。そんな中、12歳の息子はドイツ難民の少女と友情を育んでいくのだったが…。

【クレジット】

監督	アンダース・ウォルター	Anders Walter	
製作総指揮	ヘンリク・ツェイン	Henrik Zein	
脚本	アンダース・ウォルター	Anders Walter	
撮影	ラスムス・ハイゼ	Rasmus Heise	
編集	ラーズ・ヴィッシンク	Lars Wissing	
音楽	ヨハン・セーデルクヴィスト	Johan Soderqvist	
出演	ピルー・アスベック	Pilou Asbæk	ヤコブ
	ラッセ・ピーター・ラーセン	Lasse Peter Larsen	セアン
	カトリーヌ・グライス＝ローゼンタール	Katrine Greis-Rosenthal	リス
	モーテン・ヒー・アナスン	Morten Hee Andersen	
	ウルリク・トムセン	Ulrich Thomsen	
	イエンス・ヨーン・スポッタグ	Jens Jorn Spottag	